

令和5年3月16日14時00分
資料配布 近畿地方整備局
木津川上流河川事務所

「防災マップ」・「マイ・タイムライン」・「地域の約束」を作ろう
～名張地区 みんなで逃げよう（MiNi）ワークショップ開催～

近年、全国各地で台風や大雨等による風水害による被害が多発しています。災害から尊い命を守るためには、自助（自分の身は自分で守る）と共助（住民同士の助け合い）が重要であり、住民の方々には自助・共助の重要性を理解して、命を守る備えと行動を自ら考えていただく必要があります。

そこで、水害や土砂災害に備えて、いつ・どのように避難するかを話し合う場として、「みんなで逃げよう（MiNi）ワークショップ」を開催します。

記

- 日時 : 令和5年3月18日（土）13：30～15：30
- 場所 : 名張市産業振興センターアスパ1階
- 参加者 : 名張地区住民 約20名（事前申込みにより）
- 内容 : 第1部 自助を高める
テーマ1 地域の災害リスクを確認する
テーマ2 個人の避難行動を考える

※令和5年4月以降に第2部を開催予定

本ワークショップは新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた『三重県指針 ver.18』の基準により開催します。

<取扱い>

<配布場所>

伊賀記者会、名張市政記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省近畿地方整備局

木津川上流河川事務所 副所長

調査課長

やま たかし
矢間 孝司
ながさか けん
長坂 健

TEL 0595-63-1611（代表）

名張地区 みんなで逃げよう(MiNi)ワークショップ

－「防災マップ」・「マイ・タイムライン」・「地域の約束」を作ろう！－



**参加
無料**

近年、全国各地で台風や大雨等による風水害による被害が多発しています。災害から尊い命を守るためには、自助(自分の身は自分で守る)と共助(地域住民みなさま同士の助け合い)が重要です。

そこで、自助・共助を高めるため、水害や土砂災害に備えて、いつ・どのように避難するかを話し合う場として「みんなで逃げよう(MiNi)ワークショップ」を開催します。

日 時

令和5年 3月18日(土)
13:30~15:30

会 場

産業振興センターアスピア1階
多目的ホール

内 容

令和5年3月に第1部、令和5年4月以降に第2部を開催予定です。(詳細未定)



テーマ		
第1部	自助を 高める	テーマ1 地域の災害リスクを確認する
		テーマ2 個人の避難行動を考える
第2部	共助を 高める	テーマ3 ひとりで避難できない人への対応を考える
		テーマ4 地域で支えあう約束をまとめる
		テーマ5 防災リーダーを増やそう

参加申込

3月12日(日)までにメールまたはFAXでお申し込みください。

メール: nabari_ws@mail.npo-cemi.com

FAX: 03-3359-7987

■ 主 催 : 国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所 共 催 : 名張市

■ 問合せ先 : 国土交通省 近畿地方整備局 木津川上流河川事務所

副所長 矢間 / 調査課長 長坂

Tel: 0595-63-1611



ワークショップのアウトプット (第1部「自助」)

ワークショップ
成果品イメージ

■ マイ防災マップの作成

皆さんの家から避難場所までのルートを書き込み、その周辺の危険箇所等を分かるようにした「マイ防災マップ」を作成します。

<作成イメージ>

マイ防災マップ シート1

作り方	気をつけること	
①注意する気象現象 災害をチェックしよう	気象現象 気象災害 (該当する災害を 丸で囲んでください)	台風、梅雨時の大雨 洪水 土砂災害 高潮
②注意する川を 確認しましょう	大きな川 中小の川	〇〇川 〇〇川、▲▲川
③自宅と安全を確保できる 避難場所に 印をつけましょう	指定避難場所 (地震等のとき) 指定緊急避難場所 (台風等のとき) その他の避難場所	△△小学校 △△中学校 ××小学校(2階以上)
④危険な場所に 印をつけましょう	土砂災害の危険が ある場所 浸水の危険がある 場所 その他の危険箇所	●●3丁目付近 〇〇交差点の▲▲線をくぐるところ ◎◎川の河川敷
⑤シート2に避難場所への 避難ルートを 記入しましょう	避難に係る時間や 避難時の注意事項	県道〇号線は浸水の可能性があって通れない 車で15分はかかる
⑥車で避難する場合の ルートや駐車できる場所 も考えましょう	駐車できる場所	△△小学校に入れない場合は〇〇ストア駐車場

マイ防災マップ シート2

⑤避難場所への避難ルート



ワークショップのアウトプット(第1部「自助」)

■ マイ・タイムライン作成様式①

・チェックシート

災害発生が発生したときのために知っておかなければならない情報や、避難時におけるきまりごとについて整理します。

<作成イメージ>

マイ・タイムライン作成のためのチェックシート

記入例



洪水害

危険性
あり / なし



土砂災害

危険性
あり / なし

- ◆ あなたの住んでいる場所の浸水深は? 2 m
- ◆ あなたの住んでいる場所の浸水継続時間は? [3日未満]
- ◆ あなたの住んでいる場所は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか?
☐ はい ☒ いいえ

ハザードマップポータルサイトでチェックできます。



避難のきまりごと

- ◆ だれと避難しますか? [おばあちゃんと]
- ◆ どこに避難しますか? [第3中学校]
- ◆ 避難にかかる時間は? 20 分
- ◆ 避難開始のタイミングは? ☒ 警戒レベル3 ☐ 警戒レベル4
- ◆ 避難が遅れてしまったときは
[2階の太郎の部屋に避難]
- ◆ 持ち物

避難先は複数
考えておこう!



非常用持ち出し袋、モバイルバッテリー
常備薬(お薬手帳)、保険証
小銭、おばあちゃんの杖

ワークショップのアウトプット (第1部「自助」)

■ マイ・タイムライン作成様式②

・ マイ・タイムライン

チェックシートで整理した情報を元に、避難情報に基づいた皆さんの行動を、時系列で整理した「マイ・タイムライン」を作成します。

<作成イメージ>

『マイ・タイムライン』をつくってみよう！！ 記入例

台風が発生してから災害が発生するまでのそなえについて、いつ行動するか書いてみよう！

〇〇市・町・村 ●●地区 ◎◎家マイ・タイムライン 作成日××年××月××日				
台風が発生してから災害が発生するまでの状況例	警戒レベル	状況とすべき行動	行政から発信される主な情報	主なそなえ
数日前 台風発生「日本に近づくおそれがある」等の情報が流れる	警戒レベル1	今後気象状況悪化のおそれ 災害への心構えを高める	早期注意情報 台風予報	非常用持ち出し袋の確認 買い出しに行っておく
1〜2日前 台風が近づき雨や風がだんだん強くなる	警戒レベル2	気象状況悪化 自らの避難行動を確認する	氾濫注意情報 大雨注意報 洪水注意報	家の周り・バルコニーの点検 避難所・経路の確認
半日、数時間前 雨や風がさらに強くなる 土砂災害や浸水害等の危険が高まってくる 川の水がだんだん増えてくる	警戒レベル3	災害のおそれあり 危険な場所から高齢者等、避難に時間のかかる方は避難 (高齢者等以外の人必要に応じ、普段の行動を見合わせたり危険を感じたら自主的に避難)	氾濫警戒情報 大雨警報 洪水警報 高齢者等避難 (暴風警報)	お父さんと太郎にLINE 避難しやすい服装に着替える ガスの元栓、ブレーカー、戸締り確認
数時間前 台風が近づき雨が非常に強くなる 暴風になる 川の水があふれそうになる 高潮の危険も高まる 土砂災害や浸水害等の危険も非常に高まる	警戒レベル4	災害のおそれ高い 危険な場所から全員避難 警戒レベル4までに必ず避難！	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 高潮警報 避難指示	おばあちゃんと避難所へ お隣に声掛け お父さんと太郎にLINE 親戚のおじさんにメール 避難所運営のお手伝い
	警戒レベル5	災害発生または切迫 命の危険 直ちに安全確保！	氾濫発生情報 大雨特別警報 緊急安全確保	

ワークショップのアウトプット (第2部「共助」)

■ 地域全体の防災力を向上させる

- ・ひとりで避難できない人
皆さんが思い浮かぶ人を挙げていただきます。
- ・ひとりで避難できない人への対応
その人に対しての対応として必要と思ったことを意見として集約します。

<意見出しイメージ>

みんなで逃げよう (第1回) ワークショップ 第2回 準備運動

ひとりで避難できない人は、どんな人？

皆さんに書いて貼ってください。

赤ちゃん

身体の不自由な人

外国からの旅行者

年 月 日

様式① 地区・地域の支えあう約束 (1) ひとりで避難できない人への対応

ふだん	緊急時
ひとり暮らしが確認する 緊急時、頼れる家族が近くにいないか聞く 要支援者名簿の作成	避難しようと呼ぶ声をかける 福祉避難所まで車で送る 一緒に逃げる

ワークショップのアウトプット (第2部「共助」)

■ 地域で支えあう約束をまとめる

- ・地域の防災力を高めるために必要と思ったこと、できること、取り組めることを書き出していきます。

■ 防災リーダーを増やそう

参加者自身が

- ・していること
- ・これからしようと思っていること
- ・した方がいいと思うこと

を書き出していきます。

- ・上記の意見を参考に「防災リーダーになってほしい人」を挙げていただきます。

<意見出しイメージ>

様式② 地区・地域の支えあう約束 (2) そのほかの対応 作成日 年 月 日

ふだん		緊急時	
避難訓練 年1回	役員の グループ LINEを作る	避難の 声掛け	台風が来る かもしれないと周りに 伝える
備蓄品の確認	地域住民の 名簿をつくる	住民の 安否確認	
講師を招 き勉強会 を開く	避難完了し たという目 印を決める	逃げ遅れ た人を助 ける	行方不明者 の捜索

みんなであげよう (4/8/1) ワークショップ 第2回 様式③ 作成日 年 月 日

地域の防災力を高めるために、みなさん自身がやっていること、これからやろうと思っていることや
やった方がいいと思うことを付せんに書きシートに貼ってください。

ふだん		緊急時	
近所のおばあちゃんに あいさつする	避難訓練に参加する	近所のおばあちゃんと 一緒に避難する	避難所の 運営を手伝う
非常用 持ち出し品を そろえておく		だれがどこに 避難しているの か リストを作る	

防災リーダーになってくれそうな人 こういう人になってほしい

引っ越してきた 田中さん	〇〇中学の 生徒	LINEを使いこ なしている人	車の運転がで きる人
-----------------	-------------	--------------------	---------------

ワークショップ終了後の成果

■ 地域で支えあう約束

ワークショップ終了後
出された意見を

「地域で支えあう約束」の様式にまとめ
データ化し、後日、成果として地域に提供

この成果をベースに
ワークショップ終了後も
地域で検討を続け、
実際に使い、内容の見直しも続けていく



地域の防災力がさらに高まる

<成果 イメージ>

〇〇地区・地域の支えあう約束

<ひとりで避難できない人への対応>

作成日 ××年××月××日

	どのように(具体的に)	主にだれが	地域以外からの支援が必要なこと
ふだんの備え	状況を知っておく	民生委員	要支援者名簿を作る 個別避難計画を作る
	ふだんからのおつきあい	住民	
	その他		
災害発生する直前	避難の支援	近所の人	福祉避難所や病院までの移送
	その他		

<その他の対応>

	どのように(具体的に)	主にだれが	地域以外からの支援が必要なこと
ふだんの備え	避難場所・避難経路を確認しておく	住民 自主防災会	
	危険箇所の確認を確認しておく	住民	防災まち歩き会の開催
	備蓄品の確認	自主防災会	
	防災勉強会・防災訓練	自主防災会	講師を招き勉強会を開く 地区でのワークショップ開催
	その他	住民 自主防災会	
災害が発生する直前	警戒の呼びかけ	住民 自主防災会	
	避難の呼びかけ	近所の人 民生委員	
	避難状況の把握	自主防災会 消防団	
	その他		
災害発生後	安否確認	自主防災会	
	救出・救護	消防団 住民	行方不明者の捜索
	避難所運営	自主防災会 住民	避難所運営マニュアルの作成 避難所運営訓練の実施
	その他		

<防災リーダーについて>

防災リーダーがふだんやること	防災リーダーが緊急時やること
近所のおばあちゃんにあいさつする 避難訓練に参加する 非常用持ち出し品をそろえておく	近所のおばあちゃんと一緒に避難する 避難所の運営を手伝う 情報を拡散する だれがどこに避難しているのかリストに記入する
防災リーダーになってくれそうな人 こういう人になってほしい	
引っ越してきた〇〇さん ▲▲中学の生徒 LINEを使いこなしている人 車の運転ができる人	